

計画事業番号	00652	事務事業名	下水処理センター整備事業	担当部署	水道部下水道課	電話	4334
--------	-------	-------	--------------	------	---------	----	------

【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務		根拠法令等	下水道法第3条			
事務事業開始年度	昭和45年度		個別計画等	北広島市公共下水道事業計画(S45～H32)			
〃 終了予定年度				北広島市公共下水道基本計画(S43～H32) 北広島市下水道中期ビジョン(H24～H33)			
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	特別会計	補助単独区分	補助	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 5 章)	快適な生活環境のまち
	(第 6 節)	下水道の整備
	(施策 1)	下水道の整備と利用の促進
2 対 象	北広島下水処理センター	
3 目的と内容	市街地における快適で衛生的な生活環境を確保し、公共用水域の水質保全を図るため、老朽化した施設・機器の更新を平成26年度策定の「下水処理センター基本計画」及び平成27年度に策定した「下水処理施設等長寿命化計画」に則り計画的に実施する。	
4 実施内容 (手 段)	2 8 年 度 ま で	北広島下水処理センターの汚水処理施設は昭和45年度から整備を開始し、平成13年度に3系列の整備が完了した。老朽化した施設についても計画的に更新を進めてきた。平成22年度に生ごみ受入処理施設の整備が終わり受入を開始した。 平成24年度にはし尿浄化槽汚泥受入処理施設の整備が完了し、平成25年度から受入を開始した。 平成27・28年度は老朽化した汚泥処理施設や処理水消毒施設の更新工事や2・3系水処理棟の耐震診断を実施。
	2 9 年 度	平成27年度に策定した「下水処理施設等長寿命化計画」に基づき、水処理・汚泥処理施設の機器更新工事を実施する。

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度
計画	実績	計画	計画	計画
2-1消化タンク機械更新 脱硫装置更新 汚泥ポンプ更新 強制濃縮棟電気設備更新 ガスタンク設備更新 次亜タンク・ポンプ更新 機器更新実施設計 2・3系水処理耐震調査 下水道BCP策定委託	2-1消化タンク機械更新 汚泥ポンプ更新 強制濃縮棟電気設備更新 ガスタンク設備更新 次亜タンク・ポンプ更新 機器更新実施設計 2・3系水処理耐震調査 下水道BCP策定委託	2-1消化タンク機器更新 蓄電池設備更新 機器更新実施設計 2・3系水処理棟耐震補強 設計 脱硫設備更新	2系水処理施設機器更新 2-2消化タンク機器更新 2・3系水処理棟耐震補強 工事 機器更新実施設計 ストックマネジメント基本 計画策定	2系水処理施設機器更新 2-2消化タンク機器更新 汚泥処理施設機器更新 3系水処理棟機器更新実 施設計 機器更新実施設計

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。	「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	市街地において市民が衛生的で快適な生活環境を確保し、河川等の公共用水域の水質汚濁防止に大きな役割を果たしており、環境保全を図るため継続する。今後は、施設の改築更新がメインとなることから評価方法を見直す必要がある。	
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			366,596	300,721	302,061	258,061	
事業額	直接事業費	国支出金	186,254	147,440	162,500	138,500	
		道支出金	0	0	0	0	
		地方債	175,607	152,181	126,561	118,561	
		その他特財	2,343	1,100	1,000	1,000	
		一般財源	2,392	0	12,000	0	
	① 合計	366,596	300,721	302,061	258,061		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	2.30	0.00	2.30	0.00	2.30	0.00
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500
	④ =②×③	19,320	0	19,320	0	19,320	0
総事業費①+④			385,916	320,041	321,381	277,381	

【評価指標】

指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	① 整備済汚水処理能力	目標値 実績値	32,600 24,933	32600	32600	32600
	② 流入汚水量(晴天時最大)	目標値 実績値	26,566 23,213			
	③	目標値 実績値				
	④	目標値 実績値				
成果指標	① 汚水処理整備率	目標値 実績値	100 76.5	100	100	100
	② 現有能力に対する流入汚水	目標値 実績値	100以下 87.4	100以下	100以下	100以下
	③	目標値 実績値				
	【指標の定義(算式等)】		実績値			

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	市民の快適な生活環境確保のため下水道は必要不可欠な施設であり、下水道法により施設整備等は、市町村が行うこととされている。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	生活排水や工業排水を適切に処理するため、改築更新を計画的に行っており、処理施設機器の健全性を確保していることから成果はあがっている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	財政計画や長寿命化計画を基本に、必要に応じ年次計画の修正を行い成果向上を図っている。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	整備に必要な機器については、各種評価を行うことで経済的な機器を選定している。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】

法律の義務付けあり

法律の義務付けなし

【民間活力の活用性評価】
(事業担当部局が評価)

民間等での実施または市民等との協働が可能である。

民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。